

精神神経科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	当院救急外来における自殺ハイリスク高齢患者の動向
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	精神科学講座 准教授 深津孝英
研究の対象となる方	2024年4月から2025年3月までの間に時間外に当院救急外来を受診され精神神経科医師が自殺のハイリスクがあると判断した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025年9月30日まで
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 時間外に当院救急外来を受診された自殺ハイリスクの患者さんについて、精神医学的特徴を調査・解析することを目的とした実態調査を行います。 〔利用方法〕 患者さんの年齢、性別、精神科かかりつけの有無、精神疾患名、動機などについてカルテ調査を行います。65歳以上の患者さんと65歳未満の患者さんに分類し、統計学的に有意差があるかを評価します。そのうえで、自殺関連行動に関して、年齢による差があるかも加えて調査します。65歳以上の患者さんにおいては、生活環境や持病についても調査します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：カルテから、年齢、性別、精神科かかりつけの有無、生活環境、動機等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年8月31日までに窓口、電話等により、下記問い合わせ先まで申し出てください。

場合	
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 精神科学講座 担当者：准教授（氏名）深津孝英 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22130）